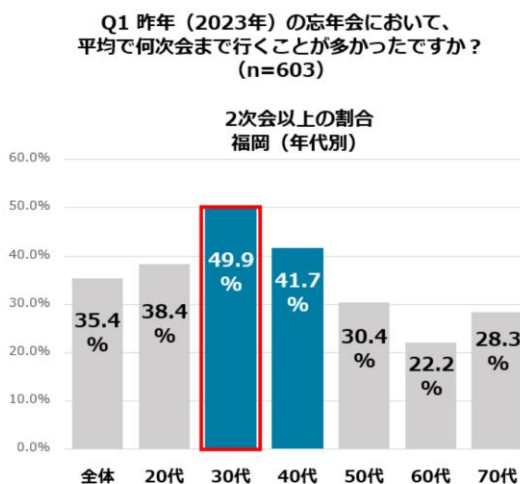


報道関係 各位

**【忘年会に関する実態調査】"飲みどころ福岡"の実態が明らかに
30代の49.9%は「もう一軒!」、メのラーメンは6割超が支持**

キューサイ株式会社(本社:福岡市中央区、代表取締役社長:佐伯 澄)は、全国 20~79 歳の 603 名を対象とした「忘年会シーズンにおける健康課題と飲食実態」に関する調査を実施しました。調査結果では、福岡の"飲み会文化"の特徴が浮き彫りになり、2次会以上の参加率は35.4%と全国を7.8%上回り、特に30代では約半数が「もう一軒」を選択。3合以上の飲酒量(57.9%)やメのラーメン(63.6%)を圧倒的に支持するなど、全国と比べて際立った飲食習慣も明らかになりました。一方で、忘年会シーズンの健康面では67.7%が課題を感じており、特に働き世代(30~40代)では7割超に。しかし、具体的な対策を講じている人は4人に1人(25.2%)にとどまることも判明しました。



※昨年(2023年)の忘年会において、平均で何次会まで行くことが多かったですかという設問に対して、「5次会以上」、「4次会」、「3次会」、「2次会」を2次会以上として集計した値

■ 調査まとめ

- I. 【福岡の忘年会】30代の約5割が「もう一軒」を選択
 - 2次会以上の参加率は福岡が高く35.4%(全国比+7.8%)
 - 年代別では30代の参加率が49.9%でトップ
- II. 【福岡の忘年会】飲酒量は全国と比べ「多め」傾向が顕著
 - 1回の忘年会での飲酒量、3合以上が福岡57.9%(全国比+10.5%)
 - 全年代で3合以上の割合が50%超え、地域特性として定着
- III. 「メの食事」33.3%が習慣、福岡では圧倒的にラーメンが人気
 - 飲み会後に「メの食事」をする割合は全体33.3%
 - 福岡のメはラーメンがトップで63.6%(全国比+10.7%)
- IV. 忘年会シーズンの健康課題67.7%が不安を抱える、30~40代では7割超に
 - 健康課題が「気になる」と回答した割合は67.7%
 - 年代別では40代が75.3%でトップ、次いで30代で71.7%と働き世代が高い結果
- V. 運動不足が最大の課題、対策実施は4人に1人
 - 運動不足が課題との回答が48.5%でトップ
 - 対策実施者は、25.2%にとどまる

<調査概要>

調査期間：2024年11月16日～11月23日

調査方法：インターネットリサーチ

調査対象：全国20～79歳の603名（福岡：302名、その他都道府県：301名）

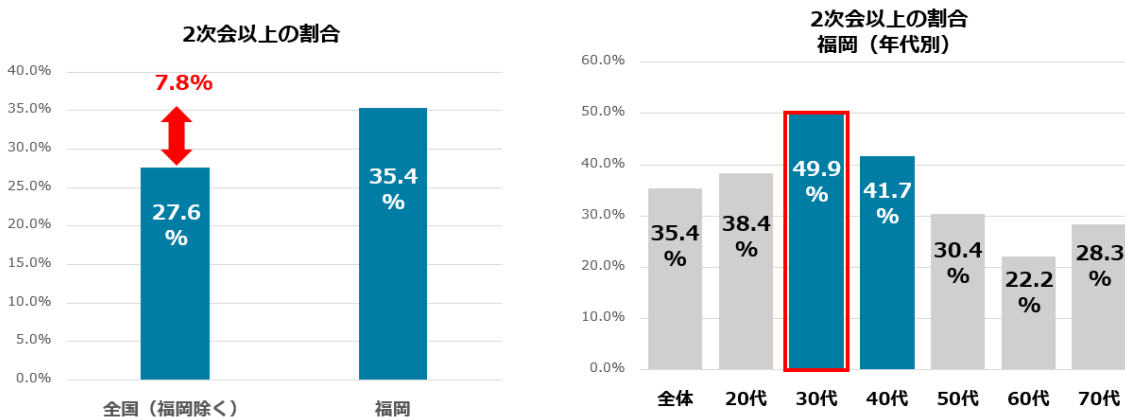
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない場合があります。

※貴媒体にて本調査の内容およびデータをご使用になる場合は、【キューサイ調べ】と出典の明記をお願い申し上げます。

I. 【福岡の忘年会】30代の約5割が「もう一軒」を選択

昨年（2023年）の忘年会において、平均で何次会まで参加したかを調査したところ、福岡では2次会以上に参加した割合が35.4%と、全国平均を7.8%上回る結果となりました。また、年代別では30代が2次会以上の参加率49.9%とほぼ半数に達し、全年代でトップ。次いで40代の41.7%となりました。この結果から、福岡の特に30～40代は全国と比べて「もう一軒！」を選ぶ傾向が強く、地域性が表れる形となりました。

Q1 昨年（2023年）の忘年会において、平均で何次会まで行くことが多かったですか？
(n=603)

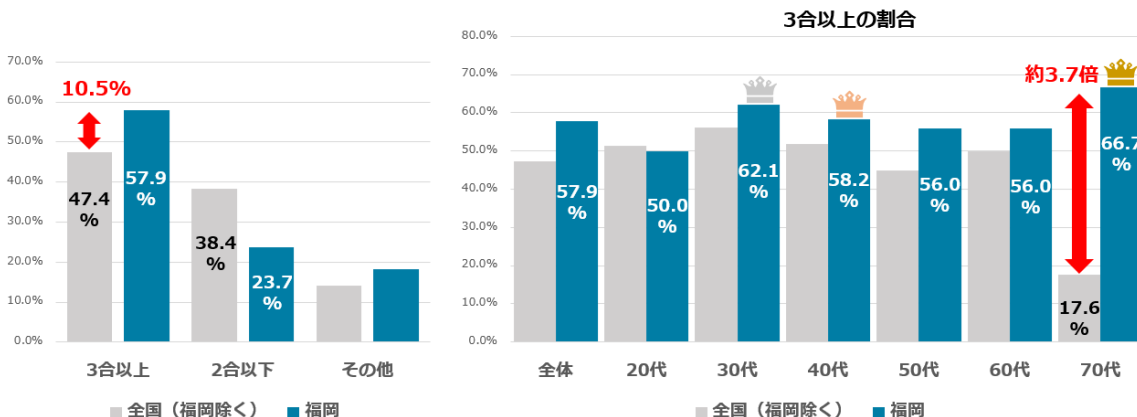


※昨年（2023年）の忘年会において、平均で何次会まで行くことが多かったですかという設問に対して、「5次会以上」、「4次会」、「3次会」、「2次会」を2次会以上として集計した値

II. 【福岡の忘年会）飲酒量は全国と比べ「多め」傾向が顕著

1回の忘年会における飲酒量を調査したところ、福岡では3合以上飲む人の割合が57.9%と、全国を10.5%上回る結果となりました。さらに詳しく年代別で見えていくと、福岡では全年代で50%を超える傾向が明らかになりました。特に70代では、福岡が66.7%であるのに対し、全国17.6%と約3.7倍以上の結果となりました。このことから、福岡における「お酒を楽しむ文化」が若年層から高齢層まで幅広く根付いていることが確認されました。

Q2 1回の忘年会において、平均でどのくらいのアルコール飲料を摂取していますか？
(n=320)

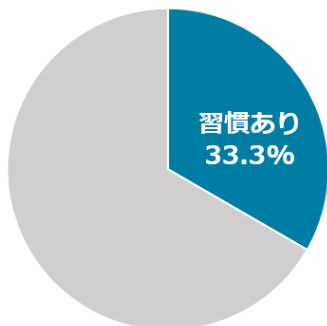


※1回の忘年会（2次回以降も含む）において、平均でどのくらいのアルコール飲料を摂取していますかという設問に対して、「11合以上」、「8～10合」、「5～7合」、「3～4合」を3合以上として集計した値

III. 「メの食事」33.3%が習慣、福岡では圧倒的にラーメンが人気

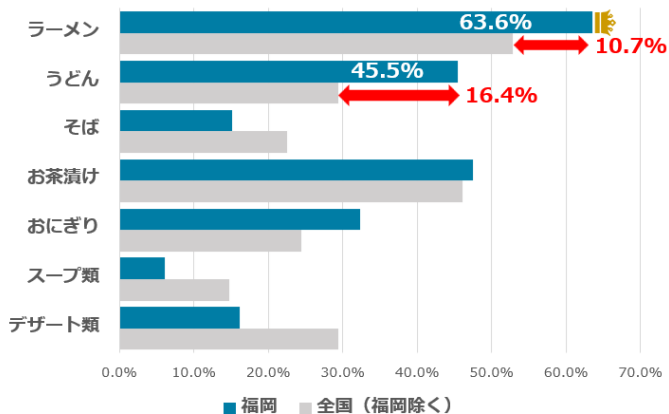
飲み会後の「メの食事」習慣について全体の33.3%が習慣ありと回答しました。特に地域別での「メの食事」内容に特徴が表れ、中でも福岡では、メとしてラーメンを選ぶ割合が63.6%と圧倒的な支持を集め、全国を10.7%上回る結果となりました。また、うどんを選ぶ割合も45.5%と全国より16.1%高く、福岡ならではの食文化が飲み会の締めくくりにも影響を与えていることが示唆されます。

Q3 飲み会後に「メの食事」をとる習慣がありますか？
(n=603)



※「メの食事」習慣の有無について、必ず食べる、時々食べるを「習慣あり」として集計した値

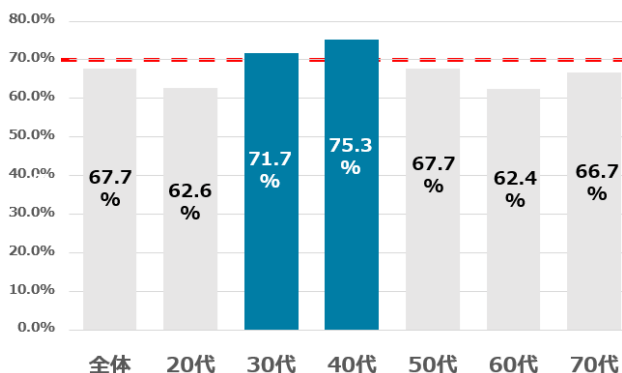
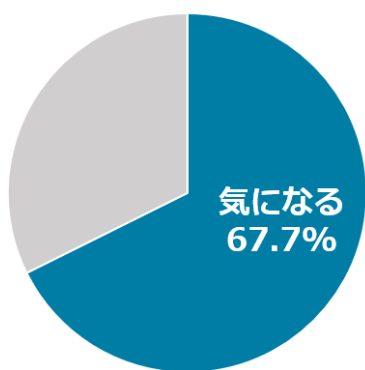
Q4 「メの食事」に何を食べていますか？
複数回答 (n=201)



IV. 忘年会シーズンの健康課題 67.7%が不安を抱える、30~40代では約7割超に

忘年会シーズンに健康課題がどの程度気になるか7段階で評価してもらった結果、「とても気になる」が14.3%、「気になる」が26.2%、「やや気になる」が27.2%となりました。年代別では40代がトップで75.3%、次いで30代が71.7%となり、働き世代が高い結果となりました。

Q5 忘年会シーズンにおいて健康課題はどの程度気になりますか？ (n=603)

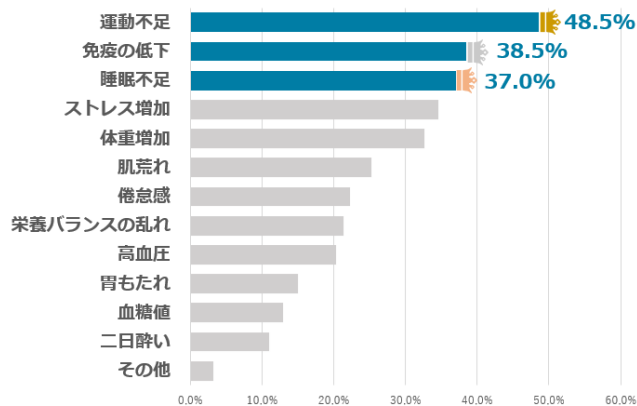


※健康課題が気になる程度を7段階で自己評価してもらい、Top3を「気になる」で集計した値

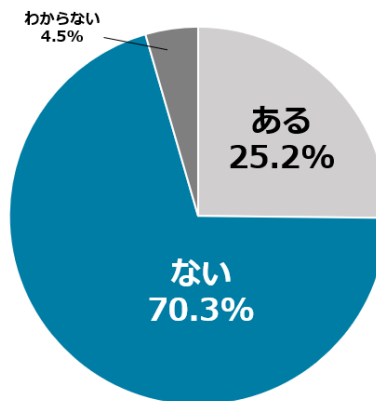
V. 運動不足が最大の課題、対策実施は4人に1人

忘年会シーズンに気になる健康課題として最も多かったのは「運動不足」で48.5%。次いで「免疫の低下」の38.5%、「睡眠不足」37.0%と続き、年末特有の生活リズムの乱れに起因する課題が上位を占める結果となりました。これらの課題に対して意識的な対策を実施している人は25.2%にとどまり、約7割が具体的な対策を講じていない実態が明らかになりました。

Q6 忘年会シーズンに気になる健康課題について当てはまることを全て選択してください。複数回答 (n=408)



Q7 忘年会シーズンにおいて特別に行っている健康対策がありますか?? (n=603)



※11月中旬から12月下旬までの期間において特別に行っている健康対策の有無を「ある」、「ない」、「わからない」の3段階で集計した値

■実施背景

当社はカラダもココロもすこやかで、いくつになっても“人生初”の体験に踏み出せる「ウェルエイジング」な世の中の実現を目指し企業活動に取り組んでいます。

本사를構える福岡は、全国でも有数の食文化を誇っており、多くの方が食を楽しむ土地柄です。また、全国的にも12月は忘年会シーズンといわれ飲食機会が増え、仕事やプライベートでも多忙なことから生活リズムが乱れやすい時期となります。これらの実態を明らかにするべく、忘年会シーズンにおける健康課題と飲食実態に関する調査を全国と福岡に分けて実施するはこびとなりました。

今回明らかになった“飲みどころ福岡”の皆さんに向けて、12月9日～15日の期間で、福岡市の西鉄福岡（天神）駅に日常生活の延長で無理なくできる新しい健康習慣の提案として、このたび「メトレ」広告を展開いたします。本取り組みを通じて、地元福岡からカラダの健康とココロの前向きさを叶える“ウェルエイジング”な社会の実現に貢献してまいります。



なお、本プレスリリースは福岡経済記者クラブにお届けしております。

【本件のお問い合わせ先、画像のご依頼など】

キューサイ株式会社 広報窓口

TEL : 092-724-0179 メールアドレス : koho@kyusai.co.jp

<https://corporate.kyusai.co.jp/>

キューサイ 企業

検索